

事業所名

ラポール発達教室Briller

支援プログラム（参考様式）

作成日

R7

年

2月

12日

法人（事業所）理念	あなたに会いたい。あなたを知りたい。あなたと一緒に笑いたい。					
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人ひとりに合わせた学習課題に取り組む、お手伝いや簡単なお仕事の体験をすることで、コイン（ラポール通貨）を得る、それを余暇や好きな遊びと交換して使う体験をするなど、社会の仕組みを経験し、自立して社会で輝けるための支援を行っていく。 人と一緒に過ごす、相手に相談や報告をする、社会における一般的な価値観や望ましい行動を学ぶなど、必要なソーシャルスキルについて学んでいけるようにする。 					
営業時間	10時	0分から	17時	15分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<p>健康で安定した通所ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康状態の把握。 児に合わせたスケジュールを用いて、見通しを持ち安心して活動に取り組めるようにする。 それぞれの児に適した温度や明るさ、場所などに配慮して過ごしやすい環境を設ける。 場所や流れの明確化を行い、課題に集中して取り組める環境を作る。 基本的な生活スキル（身だしなみ、トイレ、準備や片付けなど）を体験を通して学ぶ。 				
	運動・感覚	<p>一定のリズムで課題に取り組むことができる。将来の就労に向けて基礎体力を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 行動援護と連携し、歩行トレーニングにより自立歩行できるように支援する。中庭の遊びで楽しく身体を動かし、基礎体力を養っていけるようにする。 身体の発達段階に合わせ、集中して取り組めるよう物理的環境を整える。 着脱や排泄、整理整頓など生活において必要な動作を培う。（特別支援学校・学級コース） 				
	認知・行動	<p>それぞれに合った課題に取り組み、社会で生きる力、自分で考え対処する力を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業課題や学習課題などに一定時間一人でもしくは先生と一緒に取り組む経験を積む。 ビジョントレーニングを行い、視機能を育てる。 自分の気持ちや考えの表出の仕方を学び、自分なりの表現方法や対処方法を身につけていけるようにする。 社会における一般的な価値観を学ぶ。 「コイン（ラポール通貨）」を得る、合算して通帳に入れて貯める、余暇や物に使う体験などを行い、社会の仕組みを体感していけるようにする。 自分のやるべきことが分かるようにスケジュールを取り入れ、理解し行動していけるようにする（特別支援学校・学級コース） 				
	言語 コミュニケーション	<p>言語の受信と発信を促し、本人の特性に応じたコミュニケーション力を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> 理解できる語彙を増やし、基本的言語コミュニケーションの概念やルールを学ぶ。 課題やお仕事体験などを通して、報告、連絡、相談などのコミュニケーションスキルを学ぶ。 能動的な発信を育て、自分の要求を相手に伝えるためのコミュニケーションツール（指差しやジェスチャー、言葉、文字、絵カードの活用など）を増やしていく。 言語未発達段階の児童においては出せる音を大切に増やしていく。（特別支援学校・学級コース） 				
	人間関係 社会性	<p>多様な体験を通して、他者との関わり方や社会のマナー、ルールを学び適応行動を増やす。</p> <ul style="list-style-type: none"> 療育者との信頼関係を基盤として安心して活動に参加できるようにする。 お友だちと意見交換や協力をしたり、一緒に遊んだりする活動を通して、人と関わることの楽しさを知る。 一人でリラックスして過ごす、好きな物で遊ぶなど、一人で過ごすスキルも身につけていく。 人と会話する上での基本的なスキルを確認しながら、活動の中で好きなことを相手に伝えたり、聞いたりなどの双方向的なやりとりについて学んでいく。 お仕事体験や余暇などにもソーシャルスキルトレーニングを取り入れていき、社会性を培う。 				
家族支援	必要に応じて保護者の相談に乗り、家族支援や子育てサポート等を通して、児の特性や必要な支援について保護者と共に考えていく機会を持つ。	移行支援			社会生活を送ることを見据えて、ライフステージに応じた必要な支援を行い、スムーズな移行を目指す。	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 名東区自立支援協議会（そだつ部会）に参加し、連携を図る。 相談機関や関係機関との連携を図る。 	職員の質の向上			月1回程度：事業所内研修や、その他必要な研修（随時）を行っている。資格支援制度があり、職員の資格取得を補助している。	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 月1回程度子どもたちと一緒に避難訓練を行う。また、職員で避難経路の確認を行い災害時に備えている。 長期休み時には外出イベントを企画する予定である。 					